

(2) 第7次NACCS 更改に関する これまでの議論と今後について



2022年10月5日 輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. ACL SWG 開催実績



| No. | SWG | 日時 | ····································· |
|-----|------------|----------------------------|--|
| 1 | 第1回ACL SWG | 2021年11月29日(月)13:30~15:00 | (1) ACL業務のマーク欄、品名欄の改行 (2) ACL業務の入力可能文字の改善 (3) ACL業務の入力項目の追加 (4) ACL業務の入力項目の改善 (5) ACL業務の出力先の追加 (6) ACL業務の電文分割の改善 (7) ACL業務の帳票の改善 |
| 2 | 第2回ACL SWG | 2022年3月30日(水)11:00~12:00 | (1) ACL業務のマーク欄、品名欄の改行 (2) ACL業務の入力可能文字の改善 (3) ACL業務の入力項目の追加 (4) ACL業務の入力項目の改善 (5) ACL業務の出力先の追加 (6) ACL業務の電文分割の改善 (7) ACL業務の帳票の改善 |
| 3 | 第3回ACL SWG | 2022年10月5日(水)10:30 ~ 12:00 | (1)第7次NACCS 更改に関するこれまでの議論と今後について (2)意見交換 |

2. ACL関連業務の見直し 案件一覧



【基本仕様のACLの検討課題一覧】

- IV-2 ユーザーインターフェース(ACLカスタマイズ)の改善
- IV-8 ①品名欄の改行
- Ⅳ-8 ②従来禁則文字であった「_ (アンダーバー) 」「~ (チルダ) 」等の入力可能
- IV-8 ③品名が2つ以上入力された場合の電文分割の解消
- IV-8 ④入力項目の追加や未入力チェック項目の充実
- Ⅳ-8 ⑤輸出者等を出力先として追加
- IV-8 ⑥アタッチシートの取扱いの見直し

| 項番 | 基本仕様 | 案件概要 | 変更内容 | SWG検討状況/WG提示後の状況 | |
|----|-----------|--------------------------------|---|--|----|
| 1 | IV-2 | ACLカスタマイズツールの改善 | ACLカスタマイズツールのラベル見切れの解消。 | 提案の通り進めさせていただきます。 | 対応 |
| 2 | IV-8 ① | ACL業務のマーク欄、品名欄の改行 (折り返し可能化) | ACL01、ACL02業務の記号番号欄、品 名欄で特定キーの入力により、行の折り返 しまでのスペース補完を可能とする。 | | 対応 |
| 3 | IV-8 ② | ACL業務の入力可能文字の改善 | 「_アンダーバー」、及び「~チルダ」の入力を 可能とする。 | 荷主連絡先メールアドレス欄に加え、荷送人、荷受人、着荷通知先、記号番号、品名欄にも、アンダーバーとチルダの入力を可能とする提案の通りに進めさせていただきます。 荷主連絡先メールアドレス欄はSWGでのご意見を踏まえ、欄数を3欄に増やします。 | 対応 |
| 4 | IV-8 ④ | ACL業務の入力項目の追加 | コンテナ番号入力欄に内個数・オーバーハ イ・オーバーワイドの入力欄を追加する。 | 単位はCMとします。その他、提案の通り進めさせていただきます。 | 対応 |

2. ACL関連業務の見直し 案件一覧



| 項番 | 基本仕様 | 案件概要 | 変更内容 | SWG検討状況/WG提示後の状況 | |
|----|---------------|-------------------------|---|---|-------------------------|
| 5 | IV-8 ④ | ACL業務の入力項目の改善 | ①シール番号欄の繰返し回数を増やす。 ②荷送人・荷受人・通知先の住所・電話番号欄の文 字数を増やす。 | ①については提案の通り進めさせていただきます。 ②の住所欄等の桁数については現行の桁数を維持します。 | ①対応 ②対応見送り |
| 6 | IV-8 ⑤ | ACL業務の出力先の追加 | オリジンとは別の船会社も出力先として追加できるようにする。 | 船会社様にて、変更内容を確認いただいた結果、対応しないことと いたします。 | 対応見送り |
| 7 | IV-8 3 | ACL業務の電文分割の改善 | 品名欄、記号番号欄に品名、記号番号が2つ以上に 書き込まれた際、電文が2つに分割されないように改善 する。 | 前回SWG後再検討の要望が寄せられたことから、再検討案を 提示いたします。なお、本件についての説明の際に、情報訂正時 の訂正箇所の把握が難しいとご意見をいただきましたが、詳細を 確認した結果ご意見を取下げる旨回答いただきました。 | 対応見送り 再検討 |
| 8 | I | ACL業務の帳票の改善 | 基本的に1枚で全項目出力できる標準ACLフォームに変更する(繰返項目が増えた場合は別紙の増加を最低限にする)現在の制限の中で、ECR2件、NVC2件、コンテナ7件以内なら1枚で出力できるカスタマイズフォームを改善する。 | 項目追加等の案件もあり、初期の帳票レイアウトが大幅に変更と なることやフォントサイズを小さくするなど視認性を損ねることから、ご 説明の通り、対応しないことといたします。 | 対応見送り |
| 9 | IV-8 ④ | ACL02業務の合計個数の一致 チェック | 品名が複数に渡る場合、品名毎の個数の合計が自動 で合計個数に出力される様にして欲しい。 | 現行のプログラム変更案件として実施可否、実施となった場合 のチェック内容を検討中です。 | 追加検討 |
| 10 | IV-8 ⑥ | アタッチシートの取扱いの見直し | 記号番号等アタッチシートがある場合は、E-mail等 NACCS以外の手段で船会社、NVOCCに送付して いるが、ACL業務にて添付可能にできないか。 | アタッチシートの内容が電子データではなくPDFファイル等となる場合、ファイル取出しの仕組みの構築および受信者側で再度データ化する負担について受信者側の了解が得られず、システム化は困難な状況です。現状のご意見をお聞かせください。 | 検討中 |

注:項番1、2、8はパッケージソフトのみの対応

3. 詳細仕様検討結果の見方







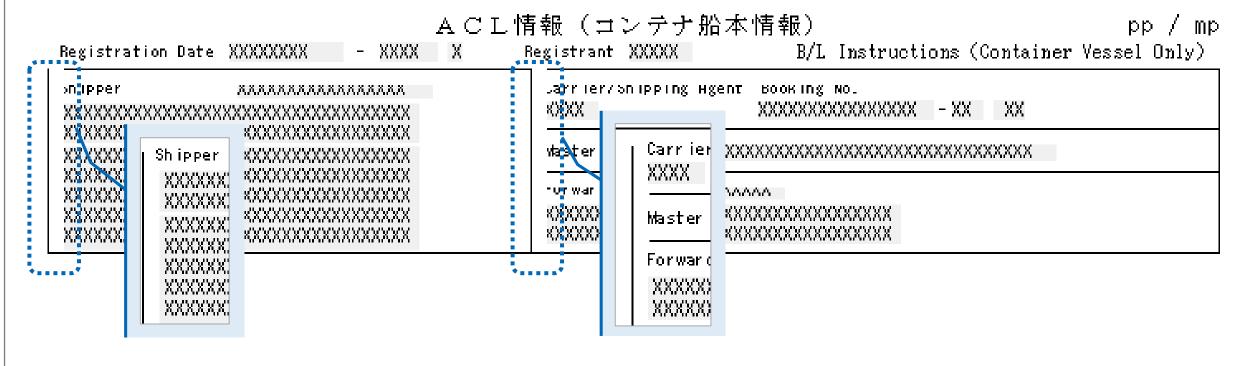
貨物 海上 第1回SWG 基本IV-8 ACLカスタマイズツールの改善

ACLカスタマイズツールの帳票カスタマイズ画面において帳票レイアウトの直線とラベルの重複があった場合も、ラベルの見切れが発生しないように変更する。

詳細仕様検討結果

ACLカスタマイズツールの帳票カスタマイズ画面において帳票レイアウトの直線とラベルが重なっている場合、ラベルの見切れが発生してしまうが、重複の際にラベルが見切れないよう改善する。

カスタマイズツール変更イメージ



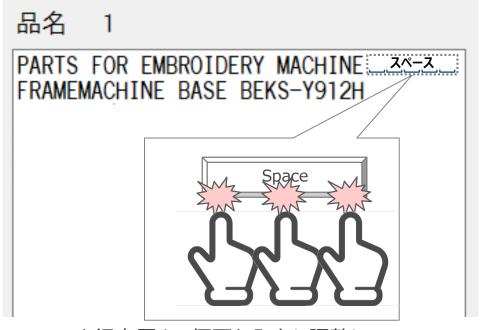


貨物 海上 第1回SWG 基本IV-8 ACL業務のマーク欄、品名欄の改行(折り返し可能化)

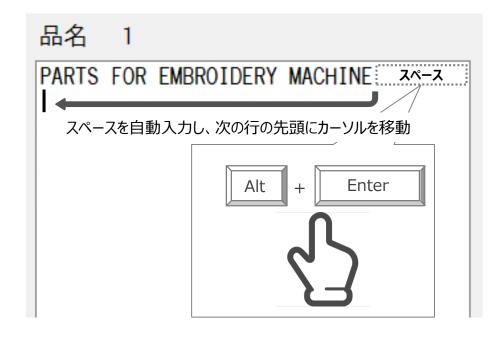
ACL01業務及びACL02業務の品名、記号番号等の複数行項目において、行の折り返しまでのスペース補完を可能とする。行の折り返しまでのスペース補完は「Alt+Enter」にて実施可能とする。

詳細仕様検討結果

現行 入力イメージ



次期変更後 入力イメージ



スペースを行末尾まで何回か入力し調整している。

「Alt+Enter」を入力する事でスペース補完可能とする。

※本件のWG提案の際、ACL業務に限らずパッケージソフトの全ての複数行項目において折り返し可能化のご要望があり、 対応する方針としています。

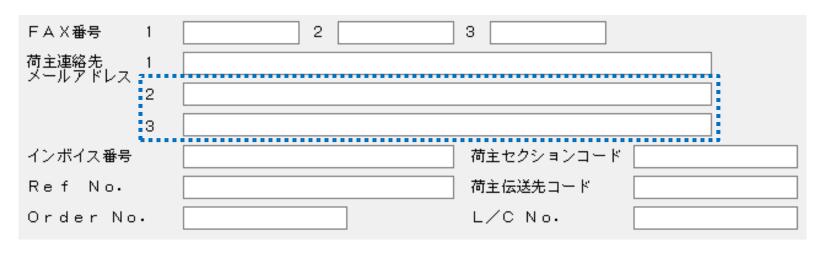


貨物 海上 第1回SWG 基本IV-8 ACL業務の入力可能文字の改善

- ① 荷主連絡先メールアドレス等に「_(アンダーバー)」及び「~(チルダ)」を入力可能とする。
- ② 荷主連絡先メールアドレスを繰返し項目とする。

詳細仕様検討結果

- ①ACL01業務及びACL02業務の以下の項目について、「_(アンダーバー)」及び「~(チルダ)」を入力可能とする。
- ・荷主連絡先メールアドレス
- ·荷送人住所·電話番号
- ·荷受人住所·電話番号
- ·着荷通知先住所·電話番号
- ·品名
- ・記号番号
- ・インボイス番号(「_(アンダーバー)」のみ対応)
- ② ACL01業務及びACL02業務の荷主連絡先メールアドレスを3回繰返し項目に変更する。



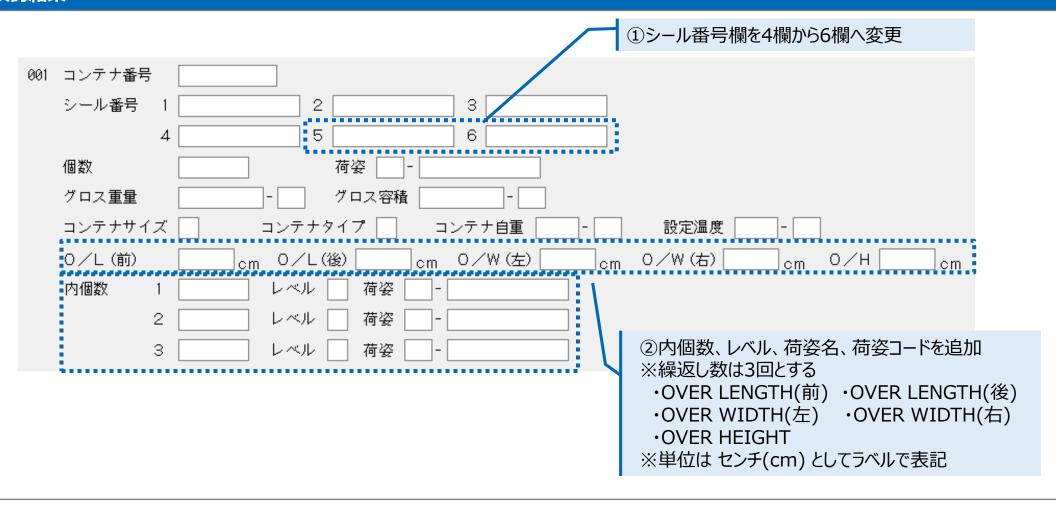


貨物 第1回SWG 基本IV-8 ACL業務の入力項目の改善・ACL業務の入力項目の追加

入力項目の改善: ACL01業務等のシール番号の繰返し数を4から6に変更する。

入力項目の追加:ACL01業務のコンテナ番号に対する「内個数」、「OVER LENGTH」、「OVER WIDTH」、「OVER HEIGHT」の入力項目を登録する。

詳細仕様検討結果





基本仕様 IV-8 ③ACL業務の電文分割の改善

再提案

第2回SWG 提案内容の再確認と補足

品名、記号番号は電文上の共通部に存在するため、入力の無い欄を省くためには、品名(最大10)、

記号番号(最大18)の欄を分割し、入力された欄分組み合わせ、組み合わせパターン分の電文を新たに設ける必要があります。

例:本情報+品名1+記号番号2→ACL電文パターンA(SATXX1)

本情報+品名2+記号番号2→ACL電文パターンB(SATXX2)

:

本情報+品名10+記号番号18→ACL電文パターンZZZ(SATXXX)

品名、記号番号を欄ごとに分割する

ACL 情報

共通部1 本船·荷送人等情報

共通部2 品名情報

共通部3 輸出管理番号情報

共通部4 ハウスブッキング情報

共通部5 記号番号情報

繰返部 ACL01:コンテナ情報等

ACL02: 車台番号情報等

品名情報01

品名情報10

01

記号番号情報01

記号番号情報18

出名

→最大180パターンの電文を新たに設ける必要があり、第2回SWGでは対応見送りとした

NACCS



基本仕様 IV-8 ③ACL業務の電文分割の改善

再提案

ACL情報受信者(メール/EDIFACTのみ)が予め受信電文の分割の有無を選択することで、記号番号情報、品名情報、車台番号情報を分割せず、第6次NACCSの本情報相当の情報に記号番号情報、品名情報、車台番号情報も含めた新たな電文を出力する。

✓ 分割する(第6次NACCSと同様)

ACL 本情報

記号番号 情報

品名情報

車台番号 情報

- ·ACL01業務:最大3電文(本情報·記号番号情報·品名情報)
- ·ACL02業務:最大4電文(本情報·記号番号情報·品名情報·車台番号情報)

となる現行通りの出力仕様。

送信者への返り電文およびパッケージソフト等利用者への非同期電文は現行通りの仕様となる。

✓ 分割しない(新規)

電文統合して出力する仕様。

EDIFACT電文を含むメール処理方式にて受信する利用者に出力する非同期電文のみを対象する。

ACL 本情報 記号番号 情報 品名情報





基本仕様 IV-8 ③ACL業務の電文分割の改善

再提案

| | メリット | デメリット |
|--|--|---|
| 変更案1 品名記号分割パターン (サブWG提示案) | ・品名、記号番号が複数欄あっても、1電文で受信が可能になる ・電文分割の要否は選択できない ・入力された欄の情報のみ受信することができる ・EDIFACT電文では入力の無い欄のタグは出力されない | ・品名(最大10回繰り返し)だけで10通りの出力情報コードが追加となり、記号番号情報(最大18回繰り返し)も同様の対応をした場合180パターンの出力情報コードの追加が必要となる・出力情報コード追加に伴い、EDIFACTにおいてもマッピングの追加が必要となる(180パターン) |
| 変更案2 分割有無選択パターン (再検討案) | ・品名、記号番号が複数欄あっても、1電文で受信が可能になる ・EXC電文受信者において電文分割の要否を選択可能になる ・出力情報(電文数)の追加を必要最低限に抑えることができる ・EDIFACT電文では入力の無い欄のタグは出力されない | ・入力の無い項目も出力せざるを得ないため電文 長が非常に長くなる(NACCS-EDI電文の場合) ・出力情報コード追加に伴い、EDIFACTにおい てもマッピングの追加が必要となる (次ページの4パターンを想定) |



基本仕様 IV-8 ③ACL業務の電文分割の改善

再提案

新規出力情報について

- ・以下の出力情報を新規追加する。
- ・自社システム(メール処理方式)利用者向けであることから電文のみ送信することとし、帳票レイアウトは作成しない。
- ・出力情報コードの追加に伴い、EDIFACT電文も新規追加する。

| | 新規情報名(仮) | 参考 ※分割前情報 |
|---|----------------------|---|
| 1 | ACL情報(コンテナ船全情報) | ・ACL情報(コンテナ船本情報) ・ACL情報(記号番号情報) ・ACL情報(品名情報) |
| 2 | ACL情報(在来船·自動車船全情報) | ・ACL情報(在来船・自動車船本情報) ・ACL情報(記号番号情報) ・ACL情報(品名情報) ・ACL情報(車台番号等情報) |
| 3 | ACL変更情報(コンテナ船全情報) | ・ACL変更情報(コンテナ船本情報) ・ACL変更情報(記号番号情報) ・ACL変更情報(品名情報) |
| 4 | ACL変更情報(在来船·自動車船全情報) | ・ACL変更情報(在来船・自動車船本情報) ・ACL変更情報(記号番号情報) ・ACL変更情報(品名情報) ・ACL変更情報(車台番号等情報) |



基本仕様 IV-8 ④入力項目の追加や未入力チェック項目の充実

再提案

入力画面 ACL02業務



当初のご要望「品名が複数に渡る場合、品名毎の個数の合計が自動で合計個数に出力される様にして欲しい。」となっていますが、一致チェック(ワーニング対応)での対応となる可能性もございますが、現行NACCSでのチェック仕様対応の追加が可能か、実施可否含め継続検討中です。



基本仕様 IV-8 ⑥アタッチシートの取扱いの見直し

基本仕様

第6次NACCSにおいても、NACCSの送信情報と別にメール、FAXでアタッチシートを送信する運用の改善について議論が行われましたが、

「基本仕様において提案を行ったアタッチシートの電子ファイル添付化については、自社システムでの取り込みが困難等の意見が大勢を占めたこと、また、自社システム対応を考慮しテキスト形式のみに限定することも考えられるが、全体におけるカバー率を考えると費用対効果の問題があることからWGでは本提案は実施しないこととした。」

としております。(詳細は次ページをご参照ください)

コロナ禍での運用の変化等を踏まえても、上記の運用が変わりない場合は7次NACCSにおいても同様の問題により対応が困難と考えますが、委員の皆様より現在の運用状況についてご意見をお聞かせください。

5-3. 詳細仕様継続検討案件



参考 第6次NACCS ACLサブWGにおける意見集約結果

| 社名 団体名 | 可否 | 形式(条件) | 基本仕様 | |
|-----------|-------------|----------------------|---|--|
| А | × | _ | 自社において取り込みの仕組みを作りこむことができない。 | |
| В | × | _ | 現行に満足している。 | |
| С | × | _ | 自社において取り込みの仕組みを作りこむことができない。 | |
| D | \triangle | テキスト (Word/Excel) | WordやExcelなどのテキストファイルであれば検討の余地あり。PDFについては反対。 システムの変更が必要になるため。 | |
| Е | Δ | テキスト | B/L発行の簡略化が求めれている昨今、日本のアタッチシートの概念を変更することが今後に向けての重要な課題となる。 輸入マニフェストの迅速性を求める上でも、この流れはグローバルで止めることはできない。また、セキュリティの観点からWord やExcelの添付もウィルスを含む危険性が考慮される。添付の際はテキストファイルの添付のみを可能とすることを希望する。 | |
| F | \bigcirc | テキスト | テキストファイルでもらえればB/L作成業務の効率化となる。 | |
| G | 0 | テキスト (Word/Excel) | 海貨業者からのアタッチシートの送付忘れが多く、アタッチシートの回収にかなりの時間を費やし、 B/L作成が遅れてしまう。現行のFAXやPDFで送付されてくるアタッチシートはかなり不明瞭なものが多いので、電子ファイル 添付が実現した場合には、Excelシート、Wordでの送信を希望する。できるのであれば、アタッチシート以外の必要書類も 同時に添付できれば更に使い勝手が良くなる。 | |
| Н | \bigcirc | _ | 現状ACL電文とアタッチシート(メール添付、FAX)が別々で着信することから、業務が煩雑になっている。 | |
| I | \bigcirc | - | MSA、MSB業務と同じようにPDFファイルを使いその出力ができるか? | |

- ・ACLの本来の目的である「B/L情報としての利用価値」という点に着目すると、アタッチシート添付可能化するとしてもテキスト形式に機能を限定する必要がある。
- ・テキスト形式のみ添付可能としても、現在アタッチシートとして送信されている情報をカバーできる割合は低いと考える
- ・船会社間のアタッチシート運用の分化
- ・費用対効果の観点



ACL業務におけるアタッチシートの電子ファイル添付化については対応しない。

6. 第7次NACCS更改スケジュール



